

1. 活動報告（事務局 記）

—2月7日（日）会員16名が参加し、シイタケの駒打ちおよび原木置き場の整備、旧ハス田の落ち葉除去（流入部）、水路周辺の落ち葉除去および水路の清掃、柵蓋設置（ため池横）、ため池内の除草の作業を実施しました。また作業前の話し合いで、田圃に水を張ることになりました。

—2月21日（日）会員13名が参加し、湿地帯の除草、除去草の片付け、川の中に倒れこんでいた杉の除去（一部は木橋の補強に使用）、椎茸、原木置き場の整理、U字溝の設置（湿地帯観察路）、木材・除去草の焼却の作業を実施しました。

—2月15日（月）～2月22日（月）1週間非定常時作業（コロナ対策）として
イ、 駐車場の貯蔵真砂にて土嚢を約60ヶ製作市道からの傾斜車道の土手修復
ロ、 須賀河内川の昇降石段設置（湿地帯の外した基礎石を利用して）
ハ、 須賀河内川の橋下の浮遊木片等除去済
応援参加者 岡崎さん・吉富会員・藤井会員・原田

2. 今後の予定（事務局 記）

◎行 事

—3月7日（日）維持活動（修復作業）

—3月21日（日）維持活動（エコアップ、修復作業）

—3月21日（日）午後、会計監査・事務局会議

3. 来訪者の声

今回はありません。

4. 会員の声 【 】 （記）

今回はありません。

5. ビオトープ関連：「山口県の昆虫たち」 (管 哲郎 記)

(60) ヤスマツトビナナフシ *Micadina yasumatsui* (直翅目 ナナフシ科)

ナナフシの仲間で皆さんが知っているのは「エダナナフシ」ではないでしょうか。よく似たものにナナフシ(ナナフシモドキ)がいます。こんな昆虫を見ることはまれで、筆者も最初はナナフシとエダナナフシは同じと思っていました。もちろんナナフシには翅がありません。しかし、トビナナフシ(ニホントビナナフシとタイワントビナナフシ)には翅があり飛ぶことができますが、さらにここに紹介した「ヤスマツトビナナフシ」も翅をもち飛翔します。本州～九州の生息しクヌギやコナラをすみかになっているようです。

山口県では下関市と山口市で見かけていますが、他では見ていません、やはり珍しいのかもしれません。皆さんにも見つけて、と言いたいのですが、保護色でありもともと見つけにくい昆虫ですので、見つけたらぜひご一報ください。



ヤスマツトビナナフシ



タイワントビナナフシ



エダナナフシ

参考文献

海野和男、2013. フィールドガイド身近な昆虫識別図鑑. 254pp. 誠文堂新光社. 東京.

6. 会よりの連絡事項

- 1) 3月21日は、維持活動の後、午後に会計監査と事務局会議を行います。会長・副会長・事務局4名・会計監査員2名の8名で行います。その後に総会資料を完成させます。また、傷害保険の来年度の人数は、稲作体験もなく、観察隊の行事も少なくなりますので、今年の650工数を、600工数に変更します。

7. 編集後記 (若林 正治 記)

今年は冬が元気な気がする、寒さもあるし雪も多く楽しい。子供の頃雪が降ると授業は中断、朝から運動場で雪合戦をして遊んだ記憶がある。本日は2月21日はビオトープの作業があった、日差しもあり、気温も20度近く上がっている。ただし数日前は雪が積もっていた。寒暖の差が大きすぎて地球環境もきになる。先週の事ですが、自転車で阿知須あたりを走っていた、空に「ひばり」が飛んでいた。まだ声は聞けなかったけど、小さい体で一生懸命羽ばたいていた、春はすぐそこまで来ているのだろう。コロナウイルスのニュースが多くてテレビもあまり見なくなったが、ワクチンの接種が始まったらいい、コロナ時代も春も近いのだと良いですね。